

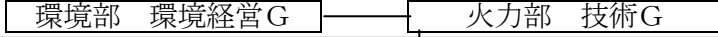
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成24年6月 日	
愛知県知事 殿	
提出者 住所 愛知県名古屋市東区東新町1番地 氏名 中部電力株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 水野 明久 (代理人) 愛知県知多市北浜町23番地 中部電力株式会社 知多火力発電所 所 長 百留 誠一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0562-55-1181	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	中部電力株式会社 知多火力発電所
事業場の所在地	愛知県知多市北浜町23番地
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	33 電気業
②事業の規模	送電端電力量 19,160,633MWh/年
③従業員数	189人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	発電設備から発生する産業廃棄物 ・ばいじん(E P灰):再生利用業者に委託してセメント原料として再利用。 ・ばいじん(湿ダスト):自社にて脱水後、再生利用業者に委託してセメント原料として再利用。 ・汚泥:再生利用業者に委託して焼却後、残渣を再利用。 ・廃油:熱回収を行う業者に焼却委託して廃熱回収、残渣は埋立処分。再生利用業者に委託して油水分離蒸留を実施して再生利用。 ・廃プラスチック:優良認定処理業者、再生利用業者に委託して破碎し再生利用。熱回収を行う業者に焼却委託して廃熱回収、残渣は埋立処分。 ・金属くず:再生利用業者に委託して処理(焙焼)し水銀回収、再利用。 ・ガラス陶磁器くず:再生利用業者に委託して処理(焙焼)し水銀回収、再利用。 ・木くず:発電用資材梱包木くず、パレットを選別・破碎して再生利用。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

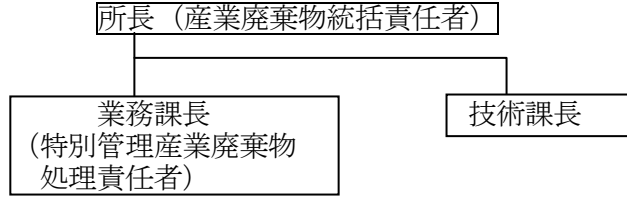
<本店>



<火力センター>



<知多火力発電所>



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成23年度）実績】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類（イオン交換樹脂、ポリ容器等）、廃油類（潤滑油、洗油）については保管場所を区分し種類別に分別して有効利用を図っている。
-----	---

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度と同様に取り組む予定である。
-----	--

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（湿ダスト）	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1, 545. 29 t	—
	(これまでに実施した取組) 自社で脱水処理により減量化を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（湿ダスト）	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1, 497 t	—
	(今後実施する予定の取組) 前年度と同様に取り組む予定である。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	—	—
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—
	再生利用業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙2のとおり	
	産業廃棄物の種類	—
	全処理委託量	—
	優良認定処理業者への 処理委託量	—
	再生利用業者への 処理委託量	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
① 現 状	【前年度（平成23年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	ばいじん (E P灰・湿ダスト)	汚泥	廃油	廃プラス チック類	金属くず	ガラス陶 磁器くず	木くず
	排 出 量	1,768.47t	361.16t	13.98t	3.91t	0.0093t	0.0008t	12.8t
② 計 画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	ばいじん (E P灰・湿ダスト)	汚泥	廃油	廃プラス チック類	金属くず	ガラス陶 磁器くず	木くず
	排 出 量	1,497t	307.2t	14.3t	5.9t	0t	0.5t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	ばいじん (E P 灰・湿ダスト)	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	223.18 t	361.16 t	13.98 t	3.91 t	0.0093 t	0.0008 t	12.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	9.80 t	0.40 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	223.18 t	345.61 t	(再掲) 9.80 t	(再掲) 0.40 t	0.0093 t	0.0008 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	4.18 t	3.51 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	(再掲) 345.61 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)	全量を再生利用業者に委託してセメント原料として再利用している。	全量を再生利用業者に委託して焼却後再利用している。	全量を再生利用業者または、熱回収業者へ委託処理している。	全量を再生利用業者または、熱回収業者へ委託処理している。	全量を再生利用業者に委託して焙焼後再利用している。	全量を再生利用業者に委託して焙焼後再利用している。	可能な限り選別・破碎して再生利用している。	
② 計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	ばいじん (E P 灰・湿ダスト)	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	284 t	307.2 t	14.3 t	5.9 t	0 t	0.5 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	10.3 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	284 t	307 t	(再掲) 10.3 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	4.0 t	5.9 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	(再掲) 307 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)	前年度と同様に取り組む予定である。							